

6 燃やせるごみ（可燃ごみ）の出し方

対象収集品目



台所（生）ごみ

- 料理くず ●食べ残し
- 卵のから ●貝殻
- まな板 ●ラップ
- おわん（プラスチックまたは木製）
- 竹くし（折って小さくするか、紙に包む）
- サラダ油などの食用油（固めるか布等にしみこませる。）※または、**廃食用油（P21 参照）として、各地区の分別収集場所（P35）に出します。**



小枝・草・枯葉など

- 少量の小枝（束ねることができないほど小さな剪定枝）
- 少量の雑草、落ち葉
- 少量の草花
- 少量の板（厚さ 1 cm 程度で長さ 50cm まで、幅 30cm 以下）



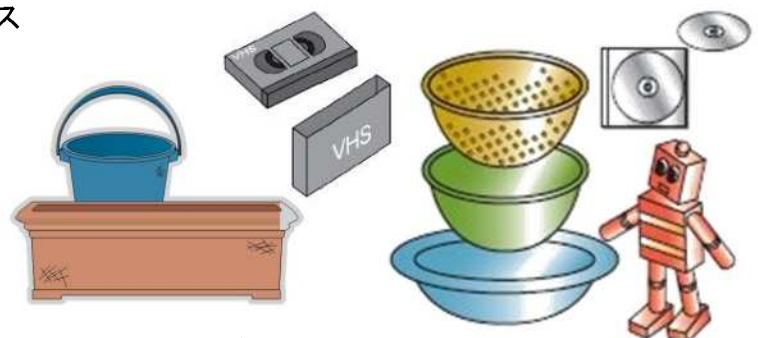
皮製品、ゴム、布、履物類

- 革靴、カバン、ベルト類の革製品（※取り外せる金具は、燃やせないごみへ）
- ゴムホース、ゴム製のひも類（※長い物は束ねるか短く切断してください。）
- 衣類、カーテンなどの布類（※ごみ袋（大）に入るもの。カーテンは金属等はずし小さく切る。）
- ぬいぐるみ、座布団、毛布、足元マット、枕類（※ごみ袋（大）に入るもの）
- スリッパ、運動靴、長靴、履物類など



ビニール・プラスチック類

- ビニール袋、ラップ、テーブルクロス
- プラスチック製の台所用品
- CD、カセットテープ
- DVD、ビデオテープ
- プラスチック製のおもちゃ
- 洗面器、バケツ、ポリ容器
- プラスチック製のプランター
- お風呂マット（※ごみ袋（大）に入らない場合は粗大ごみ）など



汚れを落としにくい食品容器類など

- 食用油の容器、マヨネーズの容器など
(※汚れが落とせたものは“容器包装プラ(青い指定袋)”へ)
- 汚れのひどい食品トレイや紙製容器など
- 汚れているアルミホイルやアルミ箔など



リサイクルできない紙

- 防水加工紙・特殊加工紙
(紙コップ、ビニール加工紙、金・銀などの金属加工紙)
(※簡単に手でちぎれないものが多い)
- 感熱紙(ファックス用紙)
- 写真、アルバム、シール
- 使い終わったティッシュペーパーなどの衛生紙
- 食品などを直接入れたり、包んだりして、汚れた紙製容器や包装紙
- 臭いのついた紙(石鹸の個別包装紙、紙製の洗剤容器、線香の箱など)



その他

- 使い捨てカイロ、乾燥剤、保冷剤
- 紙おむつ、ペット用猫砂など
(※必ず汚物をトイレに捨て、取り除いてから出してください。)



ごみの出し方と注意



週 2 回 収集

■地区によって収集日(曜日)が異なります。

※ごみ収集日(地区・曜日別)は、**町民カレンダー**でご確認ください。

※連休中の収集日も**町民カレンダー**でご確認ください。



- 午前8時30分までに、地域ごとに決められた、ごみステーションに出してください。
※アパート等にお住まいの方で、ごみを出す場所が分からないときはご近所の方が管理人さんにお聞きください。
※ごみの分別が分からないときは、住民課 環境係(64-8315)にお問い合わせください。
- 必ず、**町の指定ごみ袋**に入れて出してください。
- 剪定枝**は指定袋に入れる必要はありません。詳細は、**20ページ**をご覧ください。

出すときに注意すること

- 生ごみは、よく水を切ってから、野菜・果物・草花などは、できるだけ乾燥させてから出しましょう。
- 新聞・雑誌・雑がみ・段ボール・紙パックは、燃やせるごみに出さずに、資源ごみとして「各地区の分別収集場所」に出しましょう。⇒ 18~19 ページをご覧ください。
- 紙おむつは、必ず汚物をトイレに捨て、取り除いてから出してください。

出し方 ワンポイント

水切りを十分にしてください。

身近なところから

ごみ減量にご協力をお願いします。

生ごみは
水分を
よく切る

生ごみは内袋として、ポリ袋や紙袋を利用して頂いて結構です



- 台所の生ごみは、7~8割も水分が含まれています。水切りを十分にするだけでも、大きなごみ減量になります。
- 水分は嫌な臭いの元となるだけではなく水分が多いと燃焼効率が悪くなります。
- 水分を減らすことで、ごみの減量とCO²の削減に役立ちます。

すぐにできる生ごみ減量法

1 むらさない

- ・野菜は洗う前に皮をむく。 ・野菜などの使えない部分は、洗う前に切り落とす。

2 乾かす

- ・お茶がら、ティーバックなどは、食品トレイや新聞紙の上に乗せて乾かす。
- ・野菜くずや果物の皮は、三角コーナーに捨てずに食品トレイや新聞紙の上に乗せ乾かす。

3 買い物や料理を工夫する

- ・買いすぎに注意して、計画的にこまめに買い物をする。
- ・食べ物を大切にし、食べ残し、使い残しをしない。
- ・野菜の皮などもひと工夫でエコクッキングに使う。

4 水切りネットをもうひと絞り

- ・水切りネットを使うだけでは、まだ生ごみに水分が残っているので、ごみ袋に入れる前にもうひと絞りしてから捨てる。



◎ 生ごみを“たい肥化”しよう

- ・ガーデニングや家庭菜園に興味のある方は、生ごみをたい肥に変えて使ってみませんか。
- ・生ごみ処理機を購入した場合は補助金が受けられます。詳しくは 28 ページをご覧ください。